

# 「見守りの援助」ってどんなことをするの？

**例1** ベッド上からポータブルトイレ等(いす)へ利用者が移乗する際に、転倒等の防止のため付き添い、必要に応じて介助を行う。

**例2** 認知症等の高齢者が行うリハビリパンツやパット交換を見守り・声かけをすることにより、一人でできるだけ交換し後始末ができるように支援する。

**例3** 認知症等の高齢者に対して、ヘルパーが声かけと誘導で食事・水分摂取を支援する。

**例4** 入浴、更衣等の見守り(必要に応じて行う介助、転倒予防のための声かけ、気分の確認などを含む)。

**例5** 移動時、転倒しないように側について歩く(介護は必要時だけで、事故がないように常に見守る)。

**例6** ベッドの出入り時などにおける自立を促すための声かけ(声かけや見守り中心に必要な時だけ介助)。

**例7** 本人が自ら適切な服薬ができるよう、服薬時において、直接介助は行わずに、そばで見守り、服薬を促す。

**例8** 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う掃除、整理整頓(安全確認の声かけ、疲労の確認を含む)。

**例9** ゴミの分別が分からない利用者と一緒に分別をしてゴミ出しのルールを理解してもらう又は思い出してもらうよう援助。

**例10** 認知症の高齢者の方と一緒に冷蔵庫のなかの整理等を行うことにより、生活歴の喚起を促す。

**例11** 洗濯物を一緒に干したりたたんだりすることにより自立した生活を促すとともに、転倒予防等のための見守り・声かけを行う。

**例12** 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行うベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等。

**例13** 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う衣類の整理・被服の補修。

**例14** 利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う調理、配膳、後片付け(安全確認の声かけ、疲労の確認を含む)。

**例15** 車イス等での移動介助を行なって店に行き、本人が自ら品物を選べるよう援助。

**例16** 上記のほか、安全を確保しつつ常時介助できる状態で行うもの等であって、利用者と訪問介護員等がともに日常生活に関する動作を行うことが、ADL、IADL、QOL向上の観点から、利用者の自立支援・重度化防止に資するものとしてケアプランに位置付けられたもの。

訪問介護サービスの身体介護による  
自立生活支援・重度化防止のための

## 「見守りの援助」で “自分でできる”をサポート

「生きる」を見守り、「できる」をサポート

自分で「できる」をサポート!

# それが、安心いきいき生活を支える「見守りの援助」です

「見守りの援助」とは、訪問介護が必要となった時に、利用者本人ができることはご自身で行い、訪問介護員(ヘルパー)は安全を確保しながら常に介助できる状態で見守る訪問介護サービスの身体介護です。

## 1 「見守りの援助」って何?

「自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助」は訪問介護の身体介護に位置付けられています。

例えば、調理や入浴など日常生活に関する動作を、訪問介護員等が安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等です。



利用者の自立生活支援、身体機能および生活の質の維持向上等を目的としています。

訪問介護員(ヘルパー)が全てを行うのではなく、可能なことは利用者自らが行うことで、やる気や生きがいに繋がります。

訪問介護員(ヘルパー)が安全に配慮しつつ寄り添って「共に行う」サービスです。

利用者一人ひとりの心身の状況や生活歴等に即した内容になるように、ケアマネジャーと相談しながら行います。

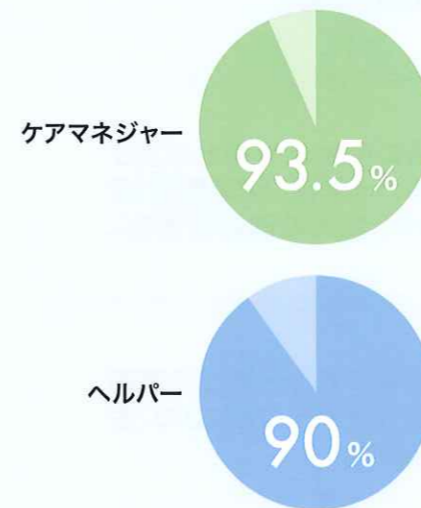
### 「見守りの援助」を利用するために

- 利用者や家族がサービスの目的や内容を理解し、利用に同意をすることがまず、出発点になります。
- 「見守りの援助」は、ケアプランの中に明記されないと利用はできません。
- 「見守りの援助」は訪問介護における身体介護に位置付けられます。利用者一人ひとりの心身の状況や生活歴等に即した内容になるように、ケアマネジャーや訪問介護員(訪問介護事業所)と十分に相談する必要があります。

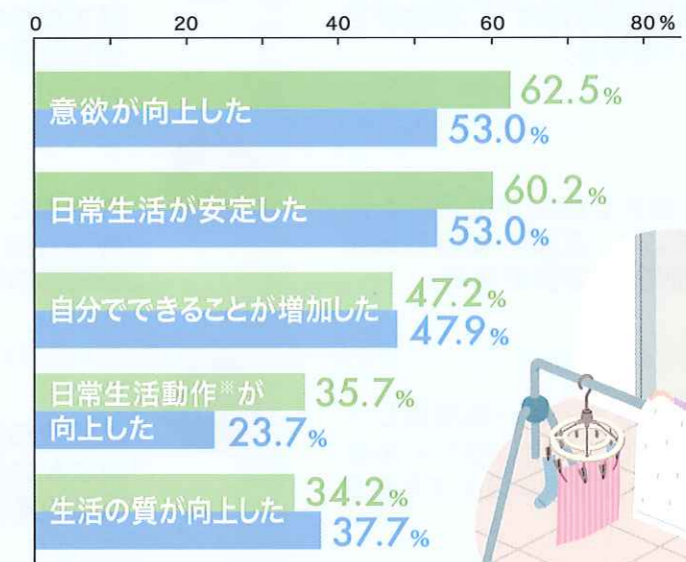
## 2 どんな効果が期待されるの?

自分でできることが増えることによって、利用者の明るいきいきとした姿が期待できます。

● 利用者への効果があると感じたケアマネジャーとヘルパーの割合



● ケアマネジャーとヘルパーから見た利用者の変化 \*複数回答



\*食事、排泄、整容、移動、入浴等生活に不可欠な基本的行動

効果は「意欲の向上」「日常生活の安定」「自分でできることが増加」などの割合が高い(複数回答)

「自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助に関する調査研究」の報告書より引用(一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会からの委託により実施)



### ●● 利用者の声 ●●

- 楽しく調理することで、食事が楽しみになりました
- 気に入りの洋服を着て、買い物をする楽しみが増えました
- 身体を動かすことが少しずつできるようになり、お腹が空いて、食事が美味しくなりました
- 自宅で一人で暮らしていくことに対する自信ができました

### ●● 家族の声 ●●

- できなかったことが、できるようになってびっくりしました
- 整理整頓ができるようになりました
- 介護をすることによる心と体の負担が減りました
- 会話が多くなり、明るくなって家族もうれしくなりました
- 笑顔が多くなりました
- イライラすることが減り、家族との関係が良くなりました

